

# 第41回 長岡しんきん業種別景気動向調査レポート

平成28年9月 発行

特別調査 金融サービスにおけるIT利活用と中小企業

長岡信用金庫 総合企画部  
TEL(0258)36-4344

【実績】平成28年 4月～平成28年 9月

<http://www.nagaoka-shinkin.com/>

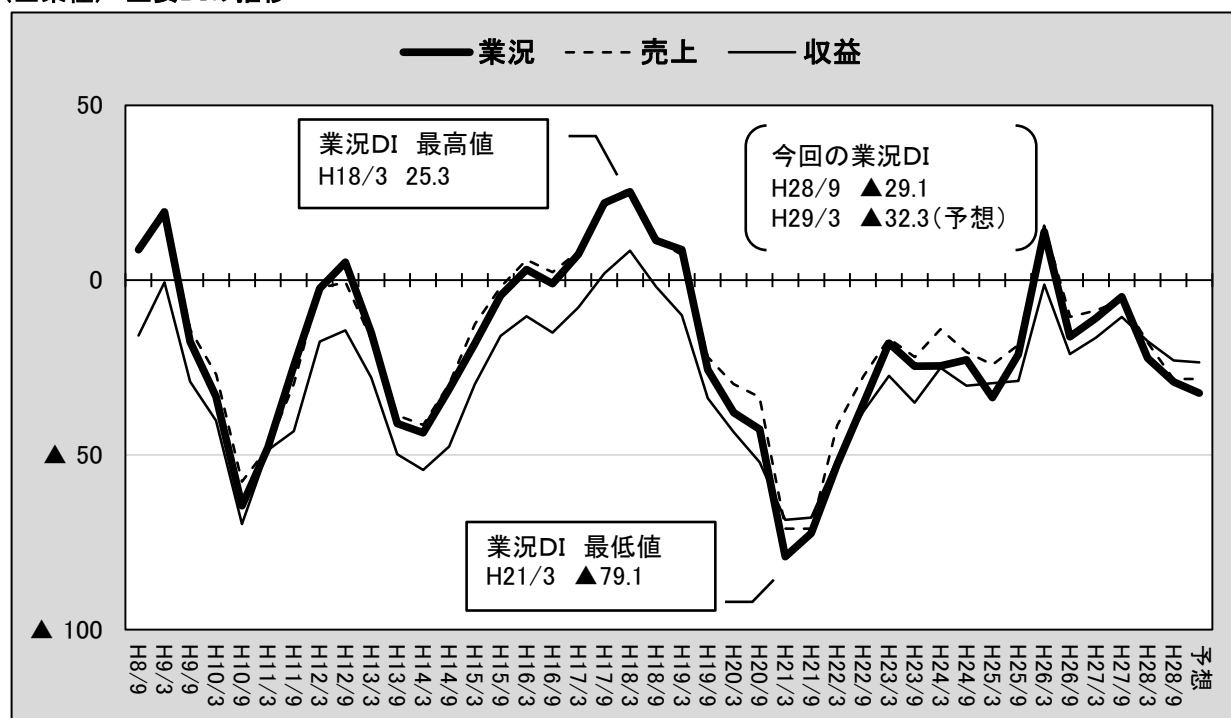
【予想】平成28年10月～平成29年 3月

**業況D.I.は2半期連続して低下。  
建設業では業況、収益が改善。**

(全業種) 前回、今回、予想の比較

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 22.3	-6.9 (悪化)	▲ 29.1	-3.2 (悪化)	▲ 32.3
売上	▲ 17.9	-10.4 (悪化)	▲ 28.3	0.0 (横這)	▲ 28.3
仕入価格	9.3	0.9 (横這)	10.2	1.7 (悪化)	11.9
販売価格	▲ 8.8	0.9 (横這)	▲ 7.9	-4.4 (悪化)	▲ 12.3
収益	▲ 17.5	-5.6 (悪化)	▲ 23.0	-0.4 (横這)	▲ 23.5
在庫	5.4	-0.5 (横這)	4.9	-0.5 (横這)	4.4
受注残高	▲ 19.4	-2.5 (悪化)	▲ 21.9	-0.1 (横這)	▲ 22.0
資金繰り	▲ 11.4	3.1 (改善)	▲ 8.3	-6.1 (悪化)	▲ 14.3
人手	▲ 17.9	-3.8 (悪化)	▲ 21.7	-1.7 (悪化)	▲ 23.5
設備状況	▲ 4.4	-7.1 (悪化)	▲ 11.5	-0.4 (横這)	▲ 11.9

(全業種) 主要DIの推移



(業種別) 前回、今回、予想の比較

(製造業)

・業況、売上、収益ともに悪化。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 22.5	-10.8 (悪化)	▲ 33.3	-4.9 (悪化)	▲ 38.2
売上	▲ 22.5	-8.6 (悪化)	▲ 31.1	-3.3 (悪化)	▲ 34.4
収益	▲ 22.5	-3.1 (悪化)	▲ 25.6	-1.1 (悪化)	▲ 26.7

(建設業)

・売上は横這い。業況、収益ともに改善。予想も改善見込み。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 22.6	5.6 (改善)	▲ 17.0	3.8 (改善)	▲ 13.2
売上	▲ 15.1	0.0 (横這い)	▲ 15.1	3.8 (改善)	▲ 11.3
収益	▲ 26.4	13.2 (改善)	▲ 13.2	1.9 (改善)	▲ 11.3

(卸売業)

・業況、売上、収益ともに悪化。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 21.1	-10.5 (悪化)	▲ 31.6	-5.2 (悪化)	▲ 36.8
売上	▲ 26.3	-5.3 (悪化)	▲ 31.6	-5.2 (悪化)	▲ 36.8
収益	▲ 10.5	-15.8 (悪化)	▲ 26.3	-5.3 (悪化)	▲ 31.6

(小売業)

・業況、売上、収益ともに3半期ぶりに悪化に転じるも、予想は売上、収益で改善。

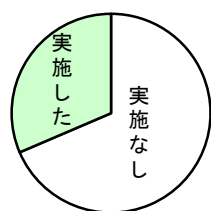
	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 31.0	-6.9 (悪化)	▲ 37.9	0.0 (横這い)	▲ 37.9
売上	▲ 13.8	-31.0 (悪化)	▲ 44.8	10.3 (改善)	▲ 34.5
収益	▲ 6.9	-24.1 (悪化)	▲ 31.0	6.9 (改善)	▲ 24.1

(その他)

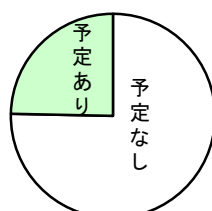
・業況、売上、収益ともに悪化。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 15.4	-12.8 (悪化)	▲ 28.2	-10.3 (悪化)	▲ 38.5
売上	▲ 10.3	-15.3 (悪化)	▲ 25.6	-2.6 (悪化)	▲ 28.2
収益	▲ 5.1	-18.0 (悪化)	▲ 23.1	-5.1 (悪化)	▲ 28.2

(全業種) 設備投資の実施と予定

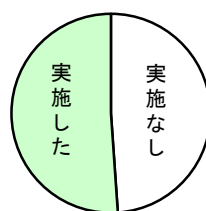


実施した  
31.4%

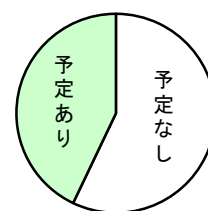


予定あり  
24.7%

(全業種) 借入の実施と予定



実施した  
51.1%



予定あり  
42.9%

(業種別) 経営上の問題点について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞、減少	22.1%	24.2%	15.4%	23.2%	23.5%	25.5%
人手不足		10.3%	16.1%			
同業者間の競争激化	12.0%		14.0%	12.5%	14.7%	16.0%
利幅の縮小	11.1%	10.3%				12.8%
販売先からの値下げ要請				16.1%		
取引先の減少					10.3%	

(業種別) 当面の重点施策について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
販路を広げる	22.1%	20.0%	21.5%	32.7%	29.6%	17.2%
経費を削減する	17.5%	16.1%	18.9%	12.5%	25.0%	16.0%
情報力を強化する	14.0%			12.5%	11.8%	24.5%
人材を確保する	14.0%		19.6%			
技術力を強化する		17.9%				

(業種別) 調査員のコメント

(製造業)

- ・少子化の影響は今後年々売上に表れる予想より、事業転換も視野に入れ検討する時期にある。業界内においてはM&Aも活発になっている。
- ・昨年の暖冬の影響により在庫過剰及び受注減少。
- ・昨年の省エネ補助金終了後、工作機械部品の製造受注が小幅減少。
- ・東京五輪に伴う再開発等の関係で主力取引先からの受注が増加。当面活況に推移していく見通し。
- ・同業他社との差別化のために、引続き品質向上の目的で設備投資をしていく。また、社内のIoTなどの先端技術の準備もしている。

(建設業)

- ・小口工事主体に材料費負担の軽減など利幅の良い工事を確保し、利益計上している。
- ・今後も慢性的な人手不足が課題であるものの、新卒採用、人材育成に努め、現場力の向上を図る。
- ・今期は公共事業が例年より多く、業況良好であった。今後は一般住宅の受注が課題。
- ・公共工事関連の受注は例年より減少。人材不足、雇用者の高齢化と問題あり。
- ・代表は40代と若く、IT活用に興味を持っている。金融サービスもオファーがあれば検討する。

(卸売業・小売業)

- ・グループ会社で製品の製造も手掛けており、独自製品を販売し、経営基盤は磐石な体制。
- ・業況大きく変わらず、今後は取引先が徐々に減少していくことが予想される。各取引先との強固な関係を活用して、情報力を要とした提案力で付加価値をつけていきたい。
- ・地場工務店の売上が大手ハウスメーカーに押されて減少していることより、県内材木店の売上也厳しい。
- ・食品の卸売業が本業であるが、今後を見据えて食品製造業にも進出したい意向(M&Aにて買収)。
- ・原油安の影響から安売り競争が激化。地道なコスト削減、技術力向上による顧客満足度アップを目指す。
- ・仕入価格の上昇もあり厳しい状況が続いている。商店街の集客力の低下も大きな課題である。

(その他)

- ・売上高は変わらないが、仕入価格を交渉したことより利幅の増加につながった。
- ・公共工事が減少しており、今後厳しくなることが予想される。

## 特別調査 金融サービスにおけるIT利活用と中小企業

### 問1

貴社では、現状の金融機関取引がIT化していくことで、どのような変化が起こると考えていますか。下記のなかからもっともあてはまるものを1つ選んでお答えください。

1. 決済や入出金の利便性が高まる	34.9%	6. 資金調達(借入等)が難しくなる	1.7%
2. 資金調達(借入等)がしやすくなる	0.4%	7. 金利や手数料の引上げが懸念される	1.7%
3. 金利や手数料の引下げが期待される	5.7%	8. 金融取引にかかる安全性が低下する	11.4%
4. 金融取引にかかる安全性が向上する	2.6%	9. 変わらない	14.8%
5. 決済や入出金の煩雑性が増える	2.2%	0. わからない	24.5%

### 問2

最近、IT化の進展にともない、ITを活用した金融サービスを提供する金融機関が出始めていますが、貴社では、問3・問4の回答項目に挙げるような金融サービスを提供する「金融とITの融合(フィンテック)」をご存知でしたか。また、こうしたITを活用した金融サービスを貴社の事業上で利用したいとお考えですか。下記のなかからそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

[金融とITの融合(フィンテック)の認知度]		[金融ITサービスの利用意向]	
1. 内容を知っていて、既に利用している	6.2%	5. 利用したい	8.5%
2. 内容を知っているが、利用していない	14.1%	6. どちらかといえば利用したい	11.2%
3. 言葉だけ聞いたことがある	37.4%	7. わからない	51.8%
4. 知らない、聞いたことはない	42.3%	8. どちらかといえば利用したくない	18.3%
		9. 利用したくない	10.3%

### 問3

貴社が組織(事業)としてITを活用した金融サービスを利用している(あるいは利用したいと考えている)サービスはございますか。下記のなかから3つ以内で選んでお答えください。

1. スマホ決済・送金	12.6%	6. 仮想通貨(ビットコインなど)	0.3%
2. 不特定多数からのインターネットを通じた資金調達(クラウドファンディング)	1.7%	7. リアルタイムで取引状況等をみた借入れ(商流ファイナンス)	3.1%
3. インターネット技術を活用した会計ソフト(クラウド会計サービス)	13.3%	8. インターネット技術を活用した経営・業務支援系サービス(事務処理など)	19.0%
4. インターネット上での自動投資サービス(オンライン投資/ロボアドバイザー)	0.7%	9. 利用したくない	38.8%
5. インターネット上での借入れ(オンライン融資)	7.1%	0. その他( )	3.4%

### 問4

社長ならびに家族が個人としてITを活用した金融サービスを利用している(あるいは利用したいと考えている)サービスはございますか。下記のなかから3つ以内で選んでお答えください。

1. スマホ決済・送金	27.7%	5. オンライン融資	0.9%
2. クラウドファンディング	1.3%	6. 仮想通貨(ビットコインなど)	0.4%
3. 家計簿サービス	2.6%	7. 利用したくない	58.7%
4. オンライン投資/ロボアドバイザー	3.4%	8. その他( )	5.1%

### 問5

取引金融機関から貴社に対して、事業上でITを活用した金融サービスの利用を勧奨されたことがありますか。下記のなかから、特に強く提案してきた取引金融機関および特に強く勧奨されたサービスをそれぞれ1つ選んでお答えください。

[提案してきた取引金融機関]		[取引金融機関から提案されたサービス]	
1. メガバンク	1.4%	6. スマホ決済・送金	8.6%
2. 地方銀行・第二地方銀行	14.4%	7. クラウドファンディング	3.2%
3. 信用金庫	4.5%	8. クラウド会計サービス	0.9%
4. 信用組合・JA等	0.5%	9. その他( )	5.0%
5. なし	79.3%	0. なし	82.4%

## 調査要領

調査時点 : 平成28年9月  
 調査方法 : 当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査  
 対象期間 : 【実績】平成28年4月～平成28年9月 【予想】平成28年10月～平成29年3月  
 調査地域 : 当金庫営業地域(長岡市、見附市、小千谷市、南魚沼市)  
 調査先 : 230先(回収率100.0%)  
 分析方法 : 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自信の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。